

祝 辞

紋別市長 金 田 武
(雪氷学会北海道支部顧問)

本日ここに、日本雪氷学会北海道支部創立 30 周年記念式典及び祝賀会が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

また多数の先輩諸兄のいる中で、私が祝辞の栄を与えられましたのは、今回の 30 周年事業を機会に、雪氷学会の活動が地域へ一層根ざしたものとすべく、顧問制度を設け、私が大任を仰せつかったものでありますので御理解頂きたいと存じあげるしだいであります。

特に本日は、長年にわたって日本雪氷学会北海道支部の活動に尽力され、数々の御功績を挙げられました方々に感謝状が贈呈されましたことは、まことに時宜を得たことと敬意を表しますとともに、受賞された方々に心からお喜び申し上げる次第であります。

御案内のとおり、日本雪氷学会北海道支部は、昭和 34 年創立以来今日に至るまで、積雪、寒冷という特性を持つ、北海道の生活や経済の発展につながる研究を行い、着々とその成果を挙げ、現在ある北海道発展に多くの貢献をしてきているところでありますことに、心から感謝している次第でございます。

北海道は、21 世紀に向かって力強く発展するため新長期総合計画を策定し昨年スタート致しました。

21 世紀は、国際化、情報化、高齢化、また技術革新の時代と言われており、雪氷寒冷を積極的に利用・活用し、雪や氷との調和、共存こそ北海道発展の基礎であります。また最近は、地球の温暖化現象を始め、全地球的な規模での気象観測、災害発生のメカニズムの解明等、貴支部の活動は北方圏諸国をはじめ、国際的にも益々注目されていくこととなっていくと考える次第でありますので、ふるさと北海道の発展のため、今後ともよろしく御協力賜りますようお願い申し上げます。

本日御出席の皆様におかれましては、今後とも御健康に特に御留意を賜り、所期の目的達成のため御活躍いただきますようお願いいたしますとともに、皆様の御多幸と支部の御発展をお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

